

令和4年度 第1回オホーツク管内ゼロカーボン連携ネットワーク会議

道内自治体様との連携事例紹介

2023年7月24日



Index

1. 奥尻町との取組

脱炭素先行地域

2. 森町との取組

ホタテ廃棄物処理

3. 中富良野町との取組

ゼロカーボンイベント



プロジェクト概要

- ◆ 奥尻町 **全域** を対象とする取組「サステナブル・アイランド奥尻」
 - ◆ 奥尻町の課題 ㊦人口減少 (⇒ **関係人口増加**)、㊩高齢化、㊪エネルギーコストの低減、㊫エネルギー供給の安定化対策、㊬ **地域経済の好循環**
 - ◆ R9年度までに順次以下を実行
 - ・既設の再エネ発電のアップグレード(地熱・水力)
 - ・再エネ発電設備新設(太陽光・風力)及び内燃機関発電の出力抑制
 - ・自営線の新設と配電網の整理・EMSの導入
 - ・保守運営体制の構築
 - ・住宅、事業所、公共施設の省エネルギー化。
 - ・町管理施設等のZEB化
- 民生部門電力以外では、
- ・町内モビリティのEV化(バス・公用車・清掃車・グリスロ)
 - ・熱利用の推進 (木質バイオマスボイラー導入・ペレット製造施設・温泉・バイナリー排湯利用)
 - ・ZEB型簡易宿泊施設

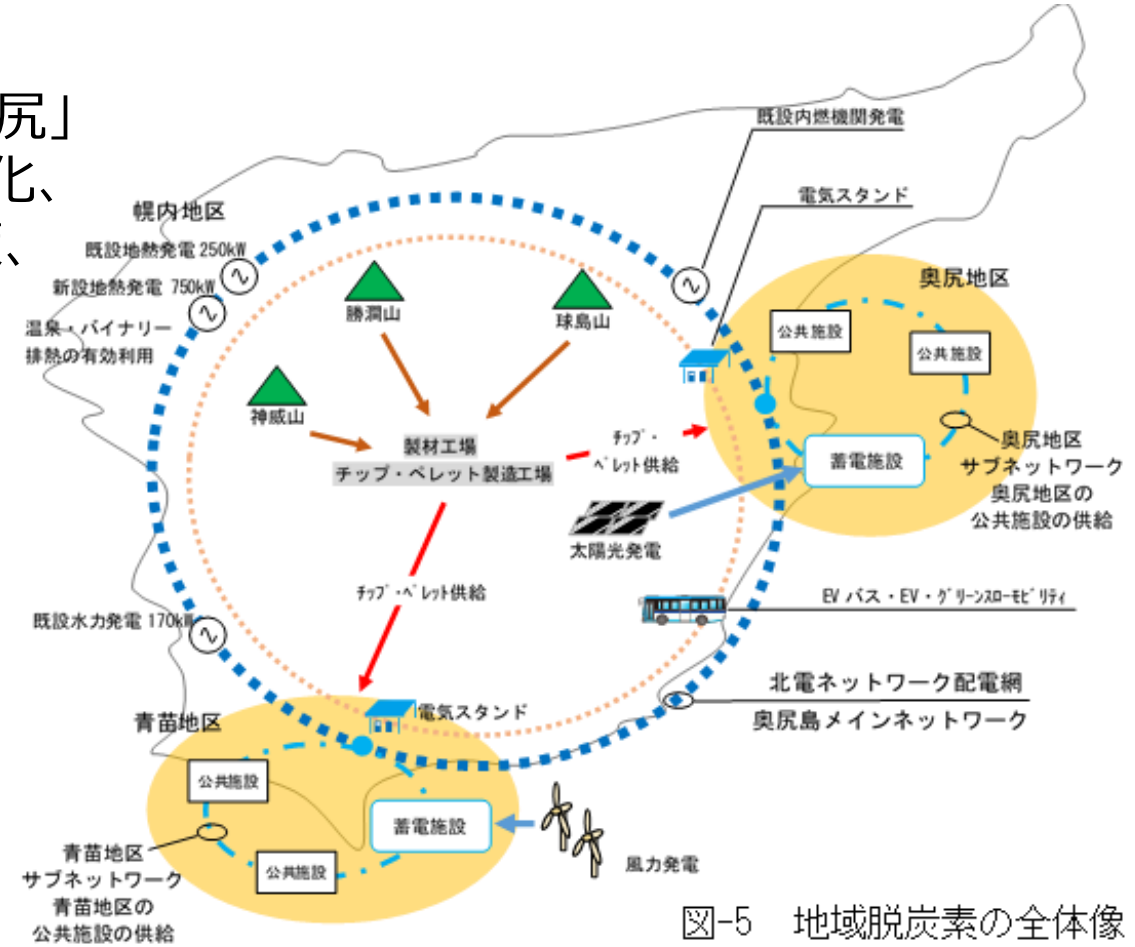
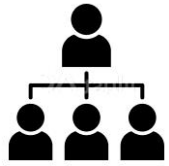


図-5 地域脱炭素の全体像

1. 奥尻町との取組 (脱炭素先行地域)



支援体制

◆「サステイナブル・アイランド奥尻推進協議会」

⇒ 道経連は**アドバイザー**

◆コンソーシアムを組成

⇒ 右図下の各社と連携

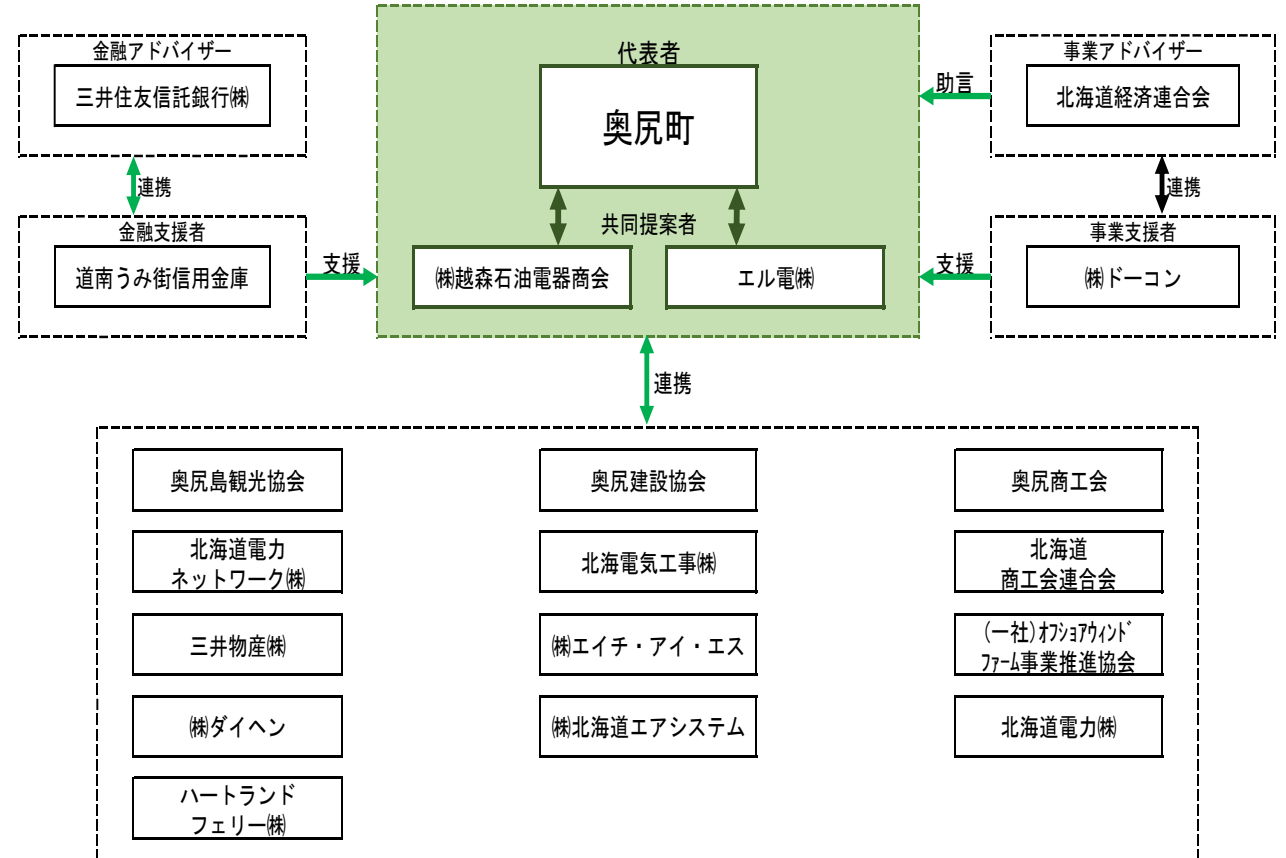
◆ワーキンググループ

「事業形態検討WG」

「ツーリズム&モビリティ検討WG」

⇒ 詳細検討は2つの部会で実施
道経連は取り纏め支援

サステイナブル・アイランド奥尻推進協議会 体制表



協議会に「事業形態検討WG」「ツーリズム&モビリティ検討WG」「レジリエンス強化検討WG」の3つの部会を設置、上記メンバーが専門分野に分かれて実施方針・実施内容等を議論



支援内容

◆プロジェクト執行全般における助言

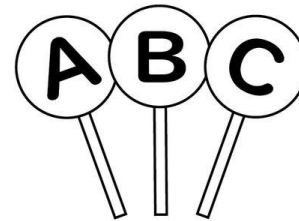


◆コンソーシアム・ワーキンググループの運営補助

◆業界・購買・サービスに関連する一般情報提供



◆ベンダー・役務提供者の紹介





Index

1. 奥尻町との取組

脱炭素先行地域

2. 森町との取組

ホタテ廃棄物処理

3. 中富良野町との取組

ゼロカーボンイベント



プロジェクト概要

- ◆ ホタテ関連産業の成長に伴い、森町では年々増え続けるホタテ貝の付着物・ウロ・貝殻といった水産系未利用資源の処理が課題
- ◆ 森町は、付着物・貝殻を堆肥化する「水産系副産物再資源化施設」、ウロを飼料会社等へ配送するための一時堆積施設を活用や、道内企業との連携により効率的な廃棄物処理に尽力中。
- ◆ 一方、道経連に対しては、ホタテ貝殻・ウロの再利用に関する相談あり。現在は道経連会員企業と連携し再利用の検討を進めている。





Index

1. 奥尻町との取組

脱炭素先行地域

2. 森町との取組

ホタテ廃棄物処理

3. 中富良野町との取組

ゼロカーボンイベント



イベント概要

- ◆ 目的 「ゼロカーボンシティなかふらの」宣言を実現のための機運醸成イベント
- ◆ イベント名 中富良野町脱炭素イベント(仮称)
- ◆ テーマ みんなで取り組む脱炭素 ～身近な脱炭素の取組～
- ◆ 開催日 令和5年10月1日(日)
- ◆ 開催場所 中富良野町農村環境改善センター
- ◆ 主催 中富良野町
- ◆ 共催 北海道経済連合会
- ◆ 協力 上川総合振興局・北海道電力ネットワーク(株)

道経連では、自治体主催のイベントに際して出展企業の仲介を実施



ご清聴ありがとうございました

